



二次元コードから
閲覧可能です。

地域連携教育は 人を まちを 活性化する!!

文部科学省は、教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）の中で、次のように述べています。
「社会の現状や変化を踏まえて 2040 年以降の社会を展望したとき、教育こそが、社会をけん引する
駆動力の中核を担う営みであり、人間中心の社会を支えるシステムとなる時代が到来していると言えよう。」
岩国市教育委員会としては、一人一人の豊かで幸せな人生と、社会の持続的な発展を実現するための大きな柱として、子供を中心に据えた地域連携教育に力を注いでいきたいと考えています。本号では、地域連携教育を推進するための中核となる全体構想を紹介します。



地域連携教育推進の中心
となるスタッフ4名です。



生涯学習課 主査
阿部 高明



生涯学習課 社会教育主事
江川 大介

岩国小…子供と大人の熟議
でお互いの良さに気がきました



通津中…公民館講座をカリキュラムの中に取り込みました



1 岩国市の方針



2 取組内容 学校の取組例

- どんな子供を育てたいか、何のためにこの活動をするのかという目的の明確化と共有
- ・熟議の工夫
- 地域学校協働活動の参観や参加をきっかけにした保護者世代の人材の確保
- ・参観日、行事等の内容の工夫
- 社会教育施設や団体等との連携
- ・学校運営協議会への参加
- 教職員、子供、地域住民による学校・地域連携カリキュラムのブラッシュアップ（スラップ→ビルド）
- ・活動後の振り返りの工夫
- 熟議による子供の声をきっかけにした組の実施
- ・計画段階からの子供の参加・参画
- 地域学校協働活動を通じた時間・空間をともにしたつながりづくり
- ・学校施設の有効活用
- 子供も大人も「楽しい」「またやってみたい」と思える活動の実施
- ・子供の振り返りの重視
- 子供と大人がともに学ぶ場の創出
- ・地域住民が学ぶ場の提供

地域連携教育だより「つながり」による広報活動で取組の共有

よろしくお願いします。



学校教育課 指導主事
中島 慎介



生涯学習課

いわくに地域連携教育アドバイザー
大上 好久

平田中…健康スポレク広場を学校で開催、子供と交流もしました



宇佐川小…地域住民と子供が防災について一緒に学びました



地域連携教育の魅力の一つに、「異質なものと出会いにより、新しいものが生まれる」ことが挙げられています。子供、教職員、地域住民（保護者）が、互いの個性を尊重しながら、思いや考えを伝え合い、「楽しかった、やってよかった、出会ってよかった」と思える熟議や地域学校協働活動を展開していきたいものです。